

[others]

「同窓生が教員に その横顔！！」

この度の4年生大学昇格で同窓生から多くの母校の教官が生まれました。

岡本篤彦(40 回生)

本学では、放射線計測学(講義および実験)および専門英語などを担当します。放射線計測学の分野は今までの自らの研究領域とは近くて遠い関係にあり、目下猛勉強中です。多くの人に支えられながら一貫してX線産業利用分野に携わってきました。微力ですが、今まで培ってきた知識と経験を診療放射線技師の育成・教育のために尽くしたいと思っています。

小田叙弘(49 回生)

大学病院で診療放射線技師として 32 年間勤務し、このたび本学で画像機器工学および診療画像技術学の専門科目を担当しています。魅力ある大学を目指していますので、よろしく願いいたします。

本学におきましては、今後、基礎科目と専門科目および同じ専門科目の中において連携、連続性が要望されるようになると思われます。また、学生たちは革新著しい高度医療技術に対応できるように多くのスキル(熟練した技術)と知識を必要としています。これまで大学病院や大学院で学んだスキルと医学的知識および画像診断学などを基に、教員として学生たちに質の高い教育と品性豊かな人材育成を行う所存です。

さらに工学的知識を活用して、医用画像に関する画質改善、被ばく低減、診断能および治療向上を目的とした研究を続け臨床応用することで、科学的根拠に基づいた安全(装置システムの品質管理など)かつ質の高い医療を提供できるものと考えています。

教育および研究成果から学生たちに良い刺激を与えたいと思いますので、学友会の皆様のご指導およびご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

最後に本学のますますのご発展と学友会の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

石垣陸太(短大5 回生)

この度、母校の 4 年生大学の開学に伴い専任教員として着任致しました。臨床現場から離れ教育・研究をする立場に替わりこれまでにないプレッシャーを感じています。

全国で多くのOBが活躍されている場へ母校卒業生を輩出するために、微力ながら貢献できるよう務めていきたいと思っています。これまでと変わらぬご指導の程、よろしく願い申し上げます。

松本圭一(短大7 回生)

本学の一卒業生として安易に四年制大学昇格を希求していた小生が、専任教員として着任するとは夢にも思っていませんでしたが、80 年の歴史を誇る「わが母校」の伝統を重んじ、より良い医療を提供できる診療放射線技師の育成に励んでいきたいと思っています。また四年制大学の教員として自身の研究も研鑽していきます。

浅学非才の身ではありますが、四年制大学として新たな学風を創出することができるよう日々努力致しますので、諸先輩方のより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上

* 通巻 185 号 2007 年 10 月 1 日発行 (H19-No.3) より